

原子力長計 市民ウォッチング

2004年8月24日18時

第6回新長計策定会議と第2技術検討小委員会についてのコメント

核燃サイクル政策をこのまま続けるのか、直接処分を進めるのかなど、重大な内容は国民的議論が必要です。何故こんなに急ぐのか、疑問に思います。

両委員会の全体の議題の進め方が不透明

核燃サイクルにしても、直接処分にしても、核廃棄物処理は大変なことだと事務局の説明から明らかなのに、これについて委員は理解しているのか、どのように評価しているのかが不透明。なぜ、こんなに大変なのに原子力は循環型社会に不可欠」という発言が出てくるのか、理解できない。

再処理シナリオの全体のコストはいつ、どのように議論・計算されるのか、不透明

現在は再処理シナリオに関してはガラス固化体の処分だけが計算評価の議論になっています。しかし再処理はガラス固化体処分以外に（中レベル核廃棄物の処分コスト、再処理解体コストなど）さまざまなコストが伴います。小委員会ですら、どのようにこの議論を行うのかが現在不透明です。このことについて審議する項目が直ちに出来るべきです。

○ 高レベル核廃棄物ガラス固化処分の計算条件の根拠を速やかに公開する必要があります。根拠が不透明だとちゃんとした議論ができません。

○ 事務局のシナリオ説明では前回の長計で議論した上、商業化を具体的に進めないことを決めた高速増殖炉計画などが説明もなく突然復活しています。「高速増殖炉は進めるべき」と口頭で委員が発言しただけで議論されないままシナリオとして資料化され、復活するのはおかしいです。

○ また、多くの委員の発言は聞きっぱなしにされます。なぜある発言はシナリオに組み込まれ、ある発言は無視されるのか、不透明です。

○ 会議の議事録が出てくるのが遅すぎます。もっと早く出すべきです。ちなみに外国（英国国会などでは）議事録は翌日の朝には印刷されています。遅くとも2日後に案を、最終は会議の1週間後に出せるはずです。

○ 資料などがウェブサイトに出るのが遅すぎます。もっと早く出すべきです。

以上